



# 愛敬重之

## 後援会だより

2013年4月1日  
第31期\_後援会31号  
発行責任者：愛敬重之後援会  
会長 若杉 俊之

### 通学路の安全対策など一般質問実施



皆さまこんにちは、今年の冬は非常に厳しく長く感じました。ようやく暖かい春がきてホッとしております。平成25年第1回定例会も無事閉会しました。桑名市の平成25年度当初予算は人件費、公債費の義務的経費や施設管理費等の経常的経費、債務負担行為などの継続事業を中心とした「骨格予算」として編成しており、政策的な事業は、事業の優先度や事業費等を判断し、6月の「肉付け補正予算」に計上するとありました。今回は議会で一般質問を行ないましたのでその内容と平成25年度当初予算の主な事業等を説明します。

#### 1. 通学路の安全対策

##### 「通学路の安全対策の実施状況とこれからの実施計画について」

**都市整備部** 昨年全体として126件の要望が提出され、市土木課を始め、国土交通省、県、県警で管理区分ごとに対応を分担し、2月末日現在で82件が対応済みである。土木課の進捗状況は、59件の要望に対し計42件が対応済みである。残りの17件は、来年度以降に一般財源による交通安全施設設置費において優先的に実施していく予定。市民への情報提供として、道路の管理区分と管理機関や交通安全施設に関する現状を市ホームページ等に掲載できるように検討する。



※再質問で残りの17件について、市民や学校の先生が対策内容・状況・責任部署をホームページで閲覧できるように後日実施していく連絡がありました。

#### 2. 公共施設・高架道路・橋等の管理

##### 「保守点検の技術者育成の考え方について」

**都市整備部** 土木課では、今年度、橋梁点検健全度評価業務を専門コンサルタント会社に委託しており、定期点検による橋梁の健全度を把握、評価するとともに長寿命化計画を策定し、予防保全を実施することで橋梁の長寿命化を図り、計画的なメンテナンスによりライフサイクルコストの縮減、更新時期の平準化を進めている状況である。このような背景を受け、土木課としても技術者の育成のため、積極的に橋梁点検研修への参加を促している。平成24年度の実績では、三重県建設技術センター主催の「橋梁点検研修」に土木課若手職員2名が参加。平成25年度も2名を予定している。



#### 3. 避難所となる学校体育館の整備

##### 「学校体育館等を避難所として使いやすくするための整備について（長岡市の視察を例に）」

**市民安全部** 東日本大震災以降、「避難所のあり方」について、大災害での避難生活の課題である長期化に伴う、ストレス、体調不良や不安など、避難所生活では様々な課題に対し、国や県、また、有識者の間でどうあるべきか協議が重ねられている状況。また教育部局では、スムーズに体育館などに入れるようにスロープの設置や洋式トイレなどの改修を計画的に進めていると聞いている。災害対応型施設という整備につきましても、教育現場という施設整備と防災面での施設改修という両面から検討し、避難生活に必要な設備の整備と施設のあり方について、関係部局と十分協議した上で検討していきたい。



※避難所開設や防災・減災に経験のある長岡市のノウハウは十分であり、職員のアンケートも紹介しました。良いところは真似をして桑名市バージョンに落とし込む事が必要かと思いましたが、答弁を伺いましたが、今ひとつ危機感がないような気がしました。

#### 4. 活力ある産業の振興

##### 「桑名市で現在実施されているマイクロ水力発電実証実験で商品化となった場合の利用について」

**経済環境部** 開始当初からの稼働により課題等を洗い出しながら、現在2号機の開発を進めていただいている。まずは防災面として災害時の最低限の照明や情報機器の充電といった用途に使用するため、市や自治会での購入を想定していると聞いている。本市からは、発電事業者による電力供給が行き届かない山間部などで、溪流等を利用した獣害対策のための電気柵の電源としての活用も期待できないかという提案もしている。まずは、市内での実用化を目指していくとともに、「桑名発」の水力発電装置として市外にアピールしていくことで産業の振興にも寄与していただきたいとも考えている。



#### 5. 生涯学習、生涯スポーツ、文化振興

##### 「2021年三重国体正式競技誘致に向けた教育委員会と都市整備部の連携について」

**教育委員会** 桑名市としては、ソフトテニス、サッカー、柔道、ゴルフ、の4種目の開催を希望している旨、先に12月議会で報告。現在、その誘致にむけ、県並びに各競技団体とで協議を重ねているところ。サッカー競技については、現在総合運動公園サッカー場の整備状況ですが、平成19年度から整備を進め今年度については園路、トイレ、東屋、防球ネットなどの整備を進めているところ。今後も引き続き、関係致します国、県への施設整備の補助金要望を行い、園路をはじめ、駐車場、更衣室など、順次施設整備を行う予定。サッカー競技の開催に向けての施設整備等については、先催県や県サッカー協会に伺ったところ、ほとんどの付帯設備については仮設での対応で問題がないと回答をもらった。開催に向け教育委員会、都市整備部とともに情報共有を図り、市一丸となり大会成功に向け取り組んでいく。



### 平成25年度当初予算内容説明（主な事業を説明します）

#### 1. 総務費

- ① **本庁舎 耐震補強事業費** 【継続】8億4,215万円 平成23年度～26年度の債務負担行為（17億8千万円）より進めている本庁舎耐震補強事業の25年度事業費
- ② **北勢線運営支援事業費** 【更新】1億376万5千円

『ぽかぽか』完成はH26年6月予定

#### 2. 民生費

- ① **西部子育て支援拠点施設『ぽかぽか』整備事業費** 【継続】1億34万円 平成24年度～25年度の2ヶ月で陽だまりの丘に子育て支援施設と生涯学習施設を兼ね備えた複合施設を整備両施設整備費の計は3億102万3千円
- ② **家庭用新エネルギー普及支援事業費** 【拡充】600万円（1件あたり3万円）対象機器  
・太陽光発電システム・燃料電池システム・ガスエンジン給湯器・小型風力発電



#### 3. 衛生費

- ① **新病院整備事業関係費** 【継続】15億2,579万7千円 平成25年度～26年度の債務負担行為を設定して平成27年4月のオープンをめざした新病院整備事業費。次の事業費の財源に応じて一般会計及び（地独）桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計に計上。  
1) 実施設計費8,390万円 2) 新病院施設整備費9億3,260万円 3) 医療機器整備費4億円  
4) 備品購入費1億829万7千円 5) 電子カルテ導入費100万円  
**一般会計 3億4,644万5千円 特別会計 12億6,069万7千円**

#### 4. 土木費

- ① **住宅リフォーム促進事業費** 【継続】2,020万円 住宅リフォーム工事費の一部（最高10万円）を助成

#### 5. 消防費

- ① **（仮称）城南地区防災センター建設事業費** 【継続】7,490万7千円

#### 6. 教育費

- ① **学力・教師力向上推進事業費** 【拡充】1,094万5千円 学力向上の基盤となる満足度の高い学級づくりのため、新たに学級満足度調査（Q-U）を実施。問題に悩む子どもの早期発見・早期対応が可能となり学級・学校の環境改善が図られる。
- ② **陽だまりの丘生涯学習施設整備費** 【継続】2億68万3千円 **議案第46号・47号の副市長人事が上程され、伊藤敬三氏・田中謙一氏の2名体制となりました。**

